

ジュニア科学クラブ 5



ほのお 炎のアツい科学

みなさんは、火をつけるための道具といえば何を思いうかべますか？
マッチ？それともライター？どちらも指先だけでかんたんに火をつけられる便利な道具ですね。今回のサイエンスショーでは、昔の人たちが使っていた右の写真のような「火起こし器」という道具と、その使い方を^{しょうかい}ご紹介します！



ダイナミックな炎の実験を楽しみながら、ものが燃えるために必要な3つの条件について学びましょう。

みやまる あき(科学館学芸スタッフ)

■5月のクラブ■

5月21日(日) 9:45 ~ 11:30ごろ

- ◆集合：サイエンスショーコーナー(展示場3階)
9:30~9:45の間に来てください
てんじ場入口で会員手帳を見せてください
- ◆もちもの：会員手帳・会員バッジ・月刊「うちゅう」5月号・
筆記用具・はさみ
- ◆内容：9:45~10:30 サイエンスショー見学(全員)
10:30~11:30 実験教室(会員番号1~32)
10:30~11:30 学芸員の展示解説(会員番号33~64)

・途中からは、入れません。ちこくしないように来てください。
・「学芸員の展示解説」は展示場で行います。自由解散です。 ※変更等がある場合があります。
※最新の情報は、科学館公式ホームページ(<https://www.sci-museum.jp/>)をご覧ください。

ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。



5・6月の実験教室

カメラを作って 写真とを撮ろう！

スマホのカメラを使えば、きれいな写真をかたんに撮ることができます。カメラはどんなしくみになっているのでしょうか。どうやって景色を紙に残すのでしょうか。

どんなことをするの？

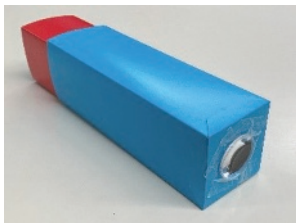
カメラを手作りして、カメラのしくみにせま迫ります。なんと紙とレンズだけで、本当に写真が撮れるカメラを作ることができるのです。

手作りカメラが完成したら、カメラをのぞいて、周りの景色を見てみましょう。くっきりはつきり、ボケずにキレイに写すにはどうすればよいか、いろいろためしてみましよう。

カメラで見るのになれたら、いよいよ写真を撮ります。太陽の光に反はん応する「感光紙かんこうし」を使うのですが、写真を撮るのに20分間もかかります！スマホとはずいぶんちがいますね。できた写真もスマホで撮った写真とは全然ちがいます。どんな写真になるか、楽しみです。

みなさんが持ってくるもの

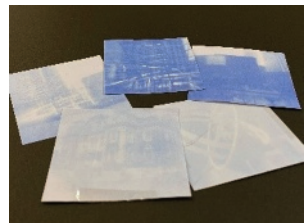
筆記用具、はさみ



紙とレンズの手作りカメラ。



カメラの中に景色が写る。



写真が撮れました！

科学デモンストレーター